

アスファルト ゴムコーティング

用途 アスファルト防水工事

- 防水層の張り仕舞い
- 呼び樋、ルーフトレイン、ベンチレータ一埋め込みボルト等と屋根面との取り合い部
- パラペット及び塔屋等立ち上がり部分の防水層端末部のシール
- その他一般家庭のベランダ、雨樋、トタン屋根等の雨漏り修理



石油缶 16L入



注意事項

- 歩行部への使用及びアスファルトゴムコーティングの上塗り着色は避けて下さい
- 第二種有機溶剤が含まれていますので、作業中及び養生中は火気厳禁とし風通しを良くして下さい
- 説明書をよく読んでからご使用ください



カートリッジ
330ml × 25 本入

試験項目	試験方法	成績
容器の中での状態	JIS K 5600-1-1 4.1.2(b)	塊がなく一様である
加熱残分	JIS K 5601-1-2	70%以上
耐熱試験	0.24mm厚, 60℃, 垂直	発泡及び6mm以上のだれ、ズレがない
折り曲げ試験	-5℃, 25mmφ, 180°	クラック及びパネルからの剥離がない



有限会社
カシレキ

兵庫県尼崎市若王寺3丁目18-4
TEL 06-6496-5761
FAX 06-6496-5762

アスファルトゴムコーチング 説明書

アスファルトゴムコーチング（以下ゴムコーチング）は防水性と弾力性の有る改質アスファルト（ゴムアスファルト）を基材とし、改質補強用の樹脂や繊維質等を加え更に石油系油剤にてペースト状とした常温施工用防水材です。

外観は黒色の軟質パテ状で、主な用途は屋上アスファルト防水工事における防水層の端部シールや貫通孔の間隙、エキスパンジョイントの目地の充填等に使用されます。但しサッシ、パイプ、埋め込み金物等とコンクリートやモルタルと隙間の充填には通常、無溶剤型のコーキング材が使用されます。

従来のルーフコーチングと比べ乾燥硬化後に弾力性が有りクラックが入りにくいのが特徴です。

【一般的な使用方法】

- ①アスファルト防水工事における防水層の張り仕舞いは、幅 75mm の網状ルーフィングを張りゴムコーチングで網目をつぶし塗りします。
- ②呼び桶、ルーフドレイン、ベンチレーター、埋め込みボルト等と屋根面の取り合い箇所は網状ルーフィングを張り、アスファルト及びゴムコーチングで網目をつぶし塗りします。
- ③パラペット及び塔屋等の立ち上がり部分の防水層の端末部分は、ゴムコーチングでシールしてから押えコンクリートを打ちます。
- ④その他、一般家庭のベランダ、雨樋、トタン屋根の雨漏り等の修理にも重宝されています。

【注意事項】

- ・主原料はアスファルト（熱軟化性）なので、直接歩行する場所での使用及び油性塗料の上塗り着色には適していません。また使用時の気温（温度）によって粘度が変化します。
- ・石油系溶剤（第二種有機溶剤）が含まれていますので、作業中及び養生中は火気厳禁とし、換風を良くして下さい。また第二類引火性固体（消防法）に分類されますので取り扱いには充分ご注意ください。
- ・用具の洗浄には塗料用シンナーを使用してください。

【保管上の注意】

- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・直射日光の当たらない風通しの良い冷暗所に施錠して保管して下さい。屋外で保管しないで下さい。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管して下さい。火気厳禁。

【応急処置】

目に入った場合	直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	付着物を布で素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーなどは使用しないこと。 汚染された衣服を取り除くこと。
吸入した場合	外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。 蒸気ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

※その他、詳細は SDS をご参照下さい。